

対象校No. 867
注4

学校コード F127310108107
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2

関西外国語大学 外国語学部 国際日本学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人関西外国語大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	事務局
職名・氏名	シムキョクチョウ ビトウ ヒロユキ 事務局長 尾藤 広幸
電話番号	072-805-2801 (内線: 1407)
(夜間)	072-805-2801 (内線: 1407)
e-mail	rmprsdnt@kansaigaidai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

外国語学部

<国際日本学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人関西外国語大学

(2) 大 学 名

関西外国語大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒573-1001

大阪府枚方市中宮東之町 1 6 番 1 号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タニモト エイコ) 谷本 榮子 (平成20年10月)		
学 長	(オオバ ユキオ) 大庭 幸男 (令和2年4月)		
学 部 長			
学科長等	(カキギ シゲタカ) 柿木 重宜 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
外国語学部 国際日本学科 学士(国際日本)	文学関係	4年	200人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	800人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [※]	人 () [-]	—	1.10倍	一倍	※出願、入試の段階において、留学生の状況は把握せず。(入学手続時に調査を行う)
志願者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	1092 () [※]	() [-]				
受験者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	1047 () [※]	() [-]				
合格者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	946 () [※]	() [-]				
B 入学者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	220 () [※]	() [-]				
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		1.10					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に「春季入学以外の学期区分の設定を予定していない年度は、「—」を選択」
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次											220 [1] (-)	- [-] (-)	
2 年次													
3 年次													
4 年次													
計											220 [1] (-)		

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。

また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	220 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{220} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<外国語学部 国際日本学科>

(1) ① 授業科目表

【届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 負担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 必修 科目	Introduction to Academic English	1前	2			1	1				2
	Essay Writing I	1後	2					2			
	Essay Writing II	2前	2					2			2
	Essay Writing III	2後	2					2			
	Academic Reading I	1前	4								6
	Academic Reading II	1後	4								6
	Academic Reading III	2前	4			1	1				2
	Academic Reading IV	2後	4			1	1				2
	Communication in English I	1前	2					3			2
	Communication in English II	1後	2					3			2
	Communication in English III	2前	2					4			2
	Communication in English IV	2後	2					4			2
	English Presentation and Discussion A	3前	4					4			
	English Presentation and Discussion B	3後	4					4			
	国際日本基礎演習 I	1前	2				1	1	1		
	国際日本基礎演習 II	1後	2				1	1	1		
	小計(16科目)	—	44	0	0	1	2	6	1		12
専門 選択 科目	国際日本文化論	1前・後		4		1	1				
	日本文化史	1前・後		4		1					
	日本の現代文化	2前・後		4			1				
	日本の伝統文化	3前・後		4			1				
	地域研究(北アメリカ)	2前・後		4							1
	地域研究(ヨーロッパ)	2前・後		4							1
	地域研究(アジア)	2前・後		4			1				
	比較文化研究	3前・後		4							1
	多文化共生	3前・後		4							1
	社会学	1前・後		4							1
	政治学	1前・後		4							1
	経済学	1前・後		4							1
	法学	1前・後		4							1
	国際関係A	1前・後		4							1
	国際関係B	2前・後		4							1
	国際政治経済論	2前・後		4							1
	ツーリズム・マネジメント	1前・後		4							1
	日本語学研究A	1前・後		4		2					
	日本語学研究B	2前・後		4				1	1		
	音声学特殊講義	3前・後		4							1
	言語学研究A	1前・後		4		1					
	言語学研究B	1前・後		4		1					
	言語学研究C	1前・後		4							1
	言語分析	2前・後		4							1
	英検演習(準1級)	1前・後		2							1
	英検演習(1級)	1前・後		2							1
	TOEFL演習 I	1前・後		2							1
	TOEFL演習 II	1前・後		2							1
	TOEIC演習 I	2前・後		2							1
	TOEIC演習 II	2前・後		2							1
	心理学	3前・後		4							1
	教育心理学	1前・後		2							1
教職概論	1前		2							1	
教育制度概論	2前・後		2							1	
教育方法の理論と実践	3後		2							1	

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門必修科目	Introduction to Academic English	1前	2			1	1				2
	Essay Writing I	1後	2					2			
	Essay Writing II	2前	2					2			2
	Essay Writing III	2後	2					2			
	Academic Reading I	1前	4								6
	Academic Reading II	1後	4								6
	Academic Reading III	2前	4			1	1				2
	Academic Reading IV	2後	4			1	1				2
	Communication in English I	1前	2					3			2
	Communication in English II	1後	2					3			2
	Communication in English III	2前	2					4			2
	Communication in English IV	2後	2					4			2
	English Presentation and Discussion A	3前	4					4			
	English Presentation and Discussion B	3後	4					4			
	国際日本基礎演習Ⅰ	1前	2				2	1			
	国際日本基礎演習Ⅱ	1後	2				2	1			
小計(16科目)		—	44	0	0	1	3	6	0		12
専門選択科目	国際日本文化論	1前・後		4		1	1				
	日本文化史	1前・後		4		1					
	日本の現代文化	2前・後		4			1				
	日本の伝統文化	3前・後		4			1				
	地域研究(北アメリカ)	2前・後		4							1
	地域研究(ヨーロッパ)	2前・後		4							1
	地域研究(アジア)	2前・後		4			1				
	比較文化研究	3前・後		4							1
	多文化共生	3前・後		4							1
	社会学	1前・後		4							1
	政治学	1前・後		4							1
	経済学	1前・後		4							1
	法学	1前・後		4							1
	国際関係A	1前・後		4							1
	国際関係B	2前・後		4							1
	国際政治経済論	2前・後		4							1
	ツーリズム・マネジメント	1前・後		4							1
	日本語学研究A	1前・後		4		2					
	日本語学研究B	2前・後		4			1	1			
	音声学特殊講義	3前・後		4							1
	言語学研究A	1前・後		4		1					
	言語学研究B	1前・後		4		1					
	言語学研究C	1前・後		4							1
	言語分析	2前・後		4							1
	英検演習(準1級)	1前・後		2							1
	英検演習(1級)	1前・後		2							1
	TOEFL演習Ⅰ	1前・後		2							1
	TOEFL演習Ⅱ	1前・後		2							1
	TOEIC演習Ⅰ	2前・後		2							1
	TOEIC演習Ⅱ	2前・後		2							1
	心理学	3前・後		4							1
	教育心理学	1前・後		2							1
	教職概論	1前		2							1
	教育制度概論	2前・後		2							1
	教育方法の理論と実践	3後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門選択科目	生徒・進路指導論	3前・後		2							1
	渡日外国人児童教育	3前・後		2							1
	教育相談	2前・後		2							1
	日本語教授法A	2前・後		4			1				
	日本語教授法B	2前・後		4				1			
	日本語教育実習	4後		2			1				
	日本語教育実習演習	4後		2					1		
	日本語教育実践実習A	3前・後		2			1				※1
	日本語教育実践実習B	3前・後		2					1		※1
	デジタルリテラシー	1通		2							1
	キャリアデザイン	1前・後		2							1
	キャリア形成	2前・後		2							1
	国際教養A	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養B	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養C	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養D	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養E	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養F	2・3・4前・後		4							※2
全学共通教育科目	国際日本総合演習Ⅰ	3前		2		2	1				
	国際日本総合演習Ⅱ	3後		2		2	1				
	インディペンデント・スタディⅠ	4前		2		5	4	6	1		
	インディペンデント・スタディⅡ	4後		2		5	4	6	1		
	小計(57科目)	-	0	180	0	5	4	6	1	0	31
	哲学	1前		4							1
	人権問題論	3後		4							1
	グローバル・アース	2後		4							1
	数学	2前		4							1
	文学	1前		4							1
	総合科目A	3前		4							1
	総合科目B	3後		4							1
	総合科目C	3前		4							1
	総合科目D	3後		4							1
	総合科目E	3前		4							1
	総合科目F	1前		2							1
	総合科目G	1後		2							1
	総合科目H	1前		2							1
	総合科目I	1後		2							1
	スポーツ健康科学	3前・後		2							1
	スペイン語Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語Ⅱ	2後		2							1
	中国語Ⅰ	2前		2							1
	中国語Ⅱ	2後		2							1
	中国語Ⅲ	2後		2							1
	フランス語Ⅰ	2前		2							1
	フランス語Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	2後		2							1
	イタリア語Ⅰ	2前		2							1
	イタリア語Ⅱ	2後		2							1
	ハンガールⅠ	2前		2							1
	ハンガールⅡ	2後		2							1
	ロシア語	2前		2							1
	ポルトガル語	2後		2							1
	デンマーク語	2前		2							1
	スウェーデン語	2後		2							1
	ハンガリー語	2前		2							1
	フィンランド語	2休		2							1
	アラビア語	2前		2							1

集中

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門選択科目	生徒・進路指導論	3前・後		2							1
	渡日外国人児童教育	3前・後		2							1
	教育相談	2前・後		2							1
	日本語教授法A	2前・後		4			1				
	日本語教授法B	2前・後		4				1			
	日本語教育実習	4後		2							
	日本語教育実習演習	4後		2					1		
	日本語教育実践実習A	3前・後		2				1			※1
	日本語教育実践実習B	3前・後		2				1			※1
	デジタルリテラシー	1通		2							1
	キャリアデザイン	1前・後		2							1
	キャリア形成	2前・後		2							1
	国際教養A	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養B	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養C	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養D	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養E	2・3・4前・後		4							※2
	国際教養F	2・3・4前・後		4							※2
全学共通教育科目	国際日本総合演習Ⅰ	3前		2		2	1				
	国際日本総合演習Ⅱ	3後		2		2	1				
	インディペンデント・スタディⅠ	4前		2		5	5	6			
	インディペンデント・スタディⅡ	4後		2		5	5	6			
	小計(57科目)	-	0	180	0	5	5	6	0	0	30
	哲学	1前		4							1
	人権問題論	3後		4							1
	グローバル・アース	2後		4							1
	数学	2前		4							1
	文学	1前		4							1
	総合科目A	3前		4							1
	総合科目B	3後		4							1
	総合科目C	3前		4							1
	総合科目D	3後		4							1
	総合科目E	3前		4							1
	総合科目F	1前		2							1
	総合科目G	1後		2							1
	総合科目H	1前		2							1
	総合科目I	1後		2							1
	スポーツ健康科学	3前・後		2							1
	スペイン語Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語Ⅱ	2後		2							1
	中国語Ⅰ	2前		2							1
	中国語Ⅱ	2後		2							1
	中国語Ⅲ	2後		2							1
	フランス語Ⅰ	2前		2							1
	フランス語Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	2後		2							1
	イタリア語Ⅰ	2前		2							1
	イタリア語Ⅱ	2後		2							1
	ハンガールⅠ	2前		2							1
	ハンガールⅡ	2後		2							1
	ロシア語	2前		2							1
	ポルトガル語	2後		2							1
	デンマーク語	2前		2							1
	スウェーデン語	2後		2							1
	ハンガリー語	2前		2							1
	フィンランド語	2休		2							1
	アラビア語	2前		2							1

集中

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全 学 共 通 教 育 科 目	ラテン語	2後		2							1
	就業体験実習A	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習B	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習C	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習D	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習E	2・3・4前・後		1							1 ※1
	ボランティア実習A	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習B	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習C	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習D	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習E	2・3・4前・後		1							1 ※1
	小計(46科目)	-	0	110	0	0	0	0	0	0	28
	合計(119科目)	-	44	290	0	5	4	6	1	0	67
卒業要件及び履修方法											
専門教育科目 専門必修科目 44単位 専門選択科目 56単位(*) 全学共通教育科目 24単位 * : 卒業要件単位56単位を超えて修得した単位数は、全学共通教育科目に充当 することができる。(履修科目の登録の上限:各セメスター間24単位) 備考※1:国内外の就業体験やボランティア活動における学修 (事前・事後指導含む)等について単位認定を行う科目。 備考※2:留学準備教育のための授業、留学中の学修等について単位認定を行う科目。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全 学 共 通 教 育 科 目	ラテン語	2後		2							1
	就業体験実習A	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習B	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習C	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習D	2・3・4前・後		2							1 ※1
	就業体験実習E	2・3・4前・後		1							1 ※1
	ボランティア実習A	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習B	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習C	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習D	2・3・4前・後		2							1 ※1
	ボランティア実習E	2・3・4前・後		1							1 ※1
	小計(46科目)	-	0	110	0	0	0	0	0	0	28
	合計(119科目)	-	44	290	0	5	4	6	1	0	66
卒業要件及び履修方法											
専門教育科目 専門必修科目 44単位 専門選択科目 56単位(*) 全学共通教育科目 24単位 * : 卒業要件単位56単位を超えて修得した単位数は、全学共通教育科目に充当 することができる。(履修科目の登録の上限:各セメスター間24単位) 備考※1:国内外の就業体験やボランティア活動における学修 (事前・事後指導含む)等について単位認定を行う科目。 備考※2:留学準備教育のための授業、留学中の学修等について単位認定を行う科目。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】(新)→【令和3年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・専任教員の職名変更により、
「国際日本基礎演習Ⅰ」「国際日本基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授2」「助教0」に変更。
「日本語学研究B」「日本語教育実習演習」「日本語教育実践実習B」の専任教員等の配置を「准教授0」「助教1」から「准教授1」「助教0」に変更。
「インディペンデント・スタディⅠ」「インディペンデント・スタディⅡ」の専任教員等の配置を「准教授4」「助教1」から「准教授5」「助教0」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
16 科目	103 科目	0 科目	119 科目	16 科目	103 科目	0 科目	119 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]					

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{119} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考	
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	中宮キャンパス全体 共用は関西外国語大学 短期大学部（必要面積 14,000㎡）	
	校 舎 敷 地	㎡	160,822.61㎡	㎡		160,822.61㎡		
	運動場用地	㎡	71,965.08㎡	㎡		71,965.08㎡		
	小 計	㎡	232,787.69㎡	㎡		232,787.69㎡		
	そ の 他	㎡	8,733.22㎡	㎡		8,733.22㎡		
	合 計	㎡	241,520.91㎡	㎡		241,520.91㎡		
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	中宮キャンパス全体 共用は関西外国語大学 短期大学部（必要面積 6,850㎡）	
		21,237.34㎡ (21,237.34㎡)	56,012.86㎡ (56,012.86㎡)	5,913.55㎡ (5,913.55㎡)		83,163.75㎡ (83,163.75㎡)		
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	中宮キャンパス全体	
		151室	93室	10室 (補助職員 人)	7室 (補助職員 人)	5室 (補助職員 人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		中宮キャンパス全体 238室 うち空室27室	
		外国語学部 国際日本学科			16 室			
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 図書588,486[252,996] 雑誌2,779[766] 図書584,607[251,527] 雑誌2,762[761] 図書、電子ジャーナル、視聴覚資料は教育研究充実のため増加。 機械・器具は情報利用環境の変化に対応し減少。(6)
	〇〇学部	64,000[24,500] (66,910[24,871]) (61,128[23,470])	500 [330] (463[313])	30,000[29,600] (28,500[28,439]) (28,031[27,970])	6,500 (6,698) (6,679)	400 (281) (358-)	0 (0)	
計	64,000[24,500] (66,910[24,871]) (61,128[23,470])	500 [330] (463[313])	30,000[29,600] (28,500[28,439]) (28,031[27,970])	6,500 (6,698) (6,679)	400 (281) (358-)	0 (0)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体
		18,120 ㎡		2,066 席		815,166		
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		14,453.63㎡		テニスコート		アーチェリー練習場		
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	500千円	500千円	500千円
		共 同 研 究 費 等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	-千円	-千円	-千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	関西外国語大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
外国語学部	4	1380	3年次 220	6080	-	1.06	-	-	令和6	-	令和5年度入学定員減 (△305) 令和6年度入学定員減 (△135) 令和6年度3年次編入学定員減 (△100) 令和6年度3年次編入学定員減 (△5)
英語学科	4	730	3年次 200	4435	学士 (英語学)	1.06	1.01	-	昭和41	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	
スペイン語学科	4	250	20	1045	学士 (スペイン語学)	1.00	0.96	-	昭和41	同上	
英語・デジタルコミュニケーション学科	4	200	0	400	学士 (英語学)	1.11	-	-	令和5	同上	
国際日本学科	4	200	0	200	学士 (国際日本)	1.10	-	-	令和6	同上	
英語国際学部	4	700	3年次 75	2975	-	0.98	-	-	平成26	-	令和6年度3年次編入学定員減 (△25)
英語国際学科	4	700	3年次 75	2975	学士 (英語国際)	0.98	-	-	平成26	大阪府枚方市御殿山南町6番1号	
英語キャリア学部	4	170	0	640	-	0.98	-	-	平成25	-	
英語キャリア学科	4	120	0	480	学士 (英語キャリア)	1.04	1.00	-	平成25	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	
英語キャリア学科 小学校教員コース	4	50	0	160	学士 (教育)	0.80	-	-	平成25	同上	
国際共生学部	4	70	秋入 3年次 30	170	-	0.98	-	-	令和5	-	令和5年度入学定員増 (20)
国際共生学科	4	70	秋入 3年次 30	170	学士 (国際共生)	0.98	-	-	令和5	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	
大学全体	4	2320	3年次 325	9865	-	-	-	-	-	-	

大 学 の 名 称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
英米語学科	2	550	年次人	1350	短期大学士(英語学)	0.75	-	-	昭和28年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	令和6年度入学定員減(△250) 令和7年度入学定員減(△50) 予定※			
未来キャリア英語学科	2	150	-	150	短期大学士(キャリア英語)	0.70	0.70	-	令和6年度	同上	令和7年度入学定員減(△50) 予定※			
短期大学全体	2	700	-	1500	-	-	-	-	-	-	令和6年度入学定員減(△250) 令和7年度入学定員減(△100) 予定※ ※令和6年4月 収容定員変更に係る学期変更届出済み			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<外国語学部 国際日本学科>

(1) ① 担当教員表

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	柿本 重宣 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		日本語学研究A 国際日本総合演習Ⅰ 国際日本総合演習Ⅱ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	鶴島 三壽 <令和6年4月> 文学修士
		国際日本文化論 日本文化史 国際日本総合演習Ⅰ 国際日本総合演習Ⅱ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	竹沢 幸一 <令和6年4月> Ph.D. in Linguistics (米國)
		言語学研究B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	塚本 秀樹 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本語学研究A 言語学研究A インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	朴 育美 <令和6年4月> Ph.D. in Education (米國)
		Introduction to Academic English Academic Reading Ⅲ Academic Reading Ⅳ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	井口 はる葉 <令和6年4月> 博士(言語文化)
		日本の伝統文化 インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	福池 秋水 <令和6年4月> 博士(文学)
		国際日本基礎演習Ⅰ 国際日本基礎演習Ⅱ 日本語教授法A 日本語教育実習 国際日本総合演習Ⅰ 国際日本総合演習Ⅱ 日本語教育実践実習A インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	山口 真史 <令和6年4月> 博士(文学)
		Introduction to Academic English Academic Reading Ⅲ Academic Reading Ⅳ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	DRUET, Lucile <令和6年4月> Ph.D. in Visual Arts (仏國)
		国際日本文化論 日本の現代文化 地域研究(アジア) インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	助教	川光 真二 <令和6年4月> Ph.D. in Education (米國)
		国際日本基礎演習Ⅰ 国際日本基礎演習Ⅱ 日本語学研究B 日本語教育実習演習 日本語教育実践実習B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	柿本 重宣 <令和6年4月> 博士(言語文化学)
		日本語学研究A 国際日本総合演習Ⅰ 国際日本総合演習Ⅱ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	鶴島 三壽 <令和6年4月> 文学修士
		国際日本文化論 日本文化史 国際日本総合演習Ⅰ 国際日本総合演習Ⅱ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	竹沢 幸一 <令和6年4月> Ph.D. in Linguistics (米國)
		言語学研究B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	塚本 秀樹 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本語学研究A 言語学研究A インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	教授	朴 育美 <令和6年4月> Ph.D. in Education (米國)
		Introduction to Academic English Academic Reading Ⅲ Academic Reading Ⅳ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	井口 はる葉 <令和6年4月> 博士(言語文化)
		日本の伝統文化 インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	福池 秋水 <令和6年4月> 博士(文学)
		国際日本基礎演習Ⅰ 国際日本基礎演習Ⅱ 日本語教授法A 日本語教育実習 国際日本総合演習Ⅰ 国際日本総合演習Ⅱ 日本語教育実践実習A インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	山口 真史 <令和6年4月> 博士(文学)
		Introduction to Academic English Academic Reading Ⅲ Academic Reading Ⅳ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	DRUET, Lucile <令和6年4月> Ph.D. in Visual Arts (仏國)
		国際日本文化論 日本の現代文化 地域研究(アジア) インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	准教授	川光 真二 <令和6年4月> Ph.D. in Education (米國)
		国際日本基礎演習Ⅰ 国際日本基礎演習Ⅱ 日本語学研究B 日本語教育実習演習 日本語教育実践実習B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	向井 絵美 <令和6年4月> Ph. D. in Linguistics (米国)	専	講師	向井 絵美 <令和6年4月> Ph. D. in Linguistics (米国)
		国際日本基礎演習Ⅰ 国際日本基礎演習Ⅱ 日本語学研究Ⅱ 日本語教授法Ⅱ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ			国際日本基礎演習Ⅰ 国際日本基礎演習Ⅱ 日本語学研究Ⅱ 日本語教授法Ⅱ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	講師	VASSILIEVA, Natalia <令和6年4月> M. A. (Translation and Linguistics) (オーストリア)	専	講師	VASSILIEVA, Natalia <令和6年4月> M. A. (Translation and Linguistics) (オーストリア)
		Communication in EnglishⅠ Communication in EnglishⅡ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ			Communication in EnglishⅠ Communication in EnglishⅡ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	講師	WAGER, Zachary J. <令和6年4月> M. Ed. (Literacy Development & Instruction-TESOL) (米国)	専	講師	
		Essay WritingⅠ Essay WritingⅡ Essay WritingⅢ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ			
専	講師	DANISMANT, Can <令和6年4月> M. A. (American Literature and Culture) (トルコ)	専	講師	DANISMANT, Can <令和6年4月> M. A. (American Literature and Culture) (トルコ)
		Essay WritingⅠ Essay WritingⅡ Essay WritingⅢ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ			Essay WritingⅠ Essay WritingⅡ Essay WritingⅢ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	講師	DUNK, Roslyn R. <令和6年4月> M. of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア)	専	講師	DUNK, Roslyn R. <令和6年4月> M. of Applied Linguistics(TESOL) (オーストラリア)
		Communication in EnglishⅠ Communication in EnglishⅡ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ			Communication in EnglishⅠ Communication in EnglishⅡ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
専	講師	LEITCHWORTH, A. David <令和6年4月> M. Ed. (TESOL) (オーストラリア)	専	講師	LEITCHWORTH, A. David <令和6年4月> M. Ed. (TESOL) (オーストラリア)
		Communication in EnglishⅠ Communication in EnglishⅡ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ			Communication in EnglishⅠ Communication in EnglishⅡ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ English Presentation and Discussion A English Presentation and Discussion B インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
			専	講師	HORN, Graham M. <令和6年4月> M. A. (Professional Development in Language Teaching) (英国)
					Essay WritingⅠ Essay WritingⅡ Essay WritingⅢ Communication in EnglishⅢ Communication in EnglishⅣ インディペンデント・スタディⅠ インディペンデント・スタディⅡ
兼任	教授	新井 肇 <令和7年9月> 修士(学校教育学)	兼任	教授	新井 肇 <令和7年9月> 修士(学校教育学)
		生徒・進路指導論 教育相談			生徒・進路指導論 教育相談
兼任	教授	浦嶋 敏之 <令和7年9月> 教育学士	兼任	教授	浦嶋 敏之 <令和7年9月> 教育学士
		渡日外国人児童教育 人権問題論 グローバル・アース			渡日外国人児童教育 人権問題論 グローバル・アース
兼任	教授	大岩 秀紀 <令和7年4月> 修士(英文学)	兼任	教授	大岩 秀紀 <令和7年4月> 修士(英文学)
		言語分析			言語分析

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	太田 和男 ＜令和6年4月＞ 教育学士	兼任	教授	太田 和男 ＜令和6年4月＞ 教育学士
		教職概論			教職概論
兼任	教授	金山 典世 ＜令和8年9月＞ 理学博士	兼任	教授	金山 典世 ＜令和8年9月＞ 理学博士
		総合科目 D			総合科目 D
兼任	教授	酒井 英一 ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Political Science (米国)	兼任	教授	酒井 英一 ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Political Science (米国)
		国際関係 A			国際関係 A
兼任	教授	篠原 郁子 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）			
		心理学			
兼任	教授	玉井 久之 ＜令和6年4月＞ 文学修士 ※	兼任	教授	玉井 久之 ＜令和6年4月＞ 文学修士 ※
		Academic Reading I Academic Reading II ボランティア実習A ボランティア実習B ボランティア実習C ボランティア実習D ボランティア実習E			Academic Reading I Academic Reading II ボランティア実習A ボランティア実習B ボランティア実習C ボランティア実習D ボランティア実習E
兼任	教授	轟 里香 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） ※	兼任	教授	轟 里香 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） ※
		Academic Reading I Academic Reading II			Academic Reading I Academic Reading II
兼任	教授	西阪 昇 ＜令和6年4月＞ 法学士	兼任	教授	西阪 昇 ＜令和6年4月＞ 法学士
		総合科目 G 総合科目 H			総合科目 G 総合科目 H
兼任	教授	西田 透 ＜令和7年4月＞ 法学士	兼任	教授	西田 透 ＜令和7年4月＞ 法学士
		就業体験実習A 就業体験実習B 就業体験実習C 就業体験実習D 就業体験実習E			就業体験実習A 就業体験実習B 就業体験実習C 就業体験実習D 就業体験実習E
兼任	教授	平田 一郎 ＜令和7年4月＞ 文学修士 ※	兼任	教授	平田 一郎 ＜令和7年4月＞ 文学修士 ※
		ラテン語			ラテン語
兼任	教授	福永 光伸 ＜令和6年4月＞ 教育学士	兼任	教授	福永 光伸 ＜令和6年4月＞ 教育学士
		Academic Reading I Academic Reading II 教育方法の理論と実践			Academic Reading I Academic Reading II 教育方法の理論と実践
兼任	教授	松崎 力 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	教授	松崎 力 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		総合科目 E 総合科目 I			総合科目 E 総合科目 I
兼任	教授	松田 健 ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Sociology (米国)	兼任	教授	松田 健 ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Sociology (米国)
		社会学			社会学
兼任	教授	森田 健宏 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	教授	森田 健宏 ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		教育心理学			教育心理学
兼任	教授	吉崎 誠 ＜令和6年4月＞ 修士（教育）	兼任	教授	吉崎 誠 ＜令和6年4月＞ 修士（教育）
		総合科目 F			総合科目 F
兼任	教授	D'HAUTCOURT, Alexis R.R. ＜令和7年4月＞ Docteur en Philosophie et Lettres (フランス)	兼任	教授	D'HAUTCOURT, Alexis R.R. ＜令和7年4月＞ Docteur en Philosophie et Lettres (フランス)
		地域研究（ヨーロッパ） フランス語 I フランス語 II			地域研究（ヨーロッパ） フランス語 I フランス語 II
兼任	准教授	稲葉 千尋 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	准教授	稲葉 千尋 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済学			経済学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	大 宗 純 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	准教授	大 宗 純 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		Academic Reading I Academic Reading II			Academic Reading I Academic Reading II
兼任	准教授	小田桐 確 ＜令和7年4月＞ 修士（国際関係論） ※	兼任	教授	小田桐 確 ＜令和7年4月＞ 修士（国際関係論） ※
		国際政治経済論			国際政治経済論
兼任	准教授	岸 野 浩一 ＜令和7年4月＞ 博士（法学）	兼任	准教授	岸 野 浩一 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		国際関係B			政治学 国際関係B
兼任	准教授	田代 直也 ＜令和7年4月＞ 博士（言語学）	兼任	准教授	田代 直也 ＜令和7年4月＞ 博士（言語学）
		ハンガリー語			ハンガリー語
兼任	准教授	中江 加津彦 ＜令和7年4月＞ 修士（言語学） ※	兼任	准教授	中江 加津彦 ＜令和7年4月＞ 修士（言語学） ※
		アラビア語			アラビア語
兼任	准教授	牧 野 節子 ＜令和8年4月＞ 修士（学術）	兼任	准教授	牧 野 節子 ＜令和8年4月＞ 修士（学術）
		比較文化研究			比較文化研究
兼任	准教授	安 枝 伸雄 ＜令和6年4月＞ 公共政策修士	兼任	准教授	安 枝 伸雄 ＜令和6年4月＞ 公共政策修士
		法学			法学
兼任	准教授	吉川 雅也 ＜令和6年9月＞ 博士（商学）	兼任	准教授	吉川 雅也 ＜令和6年9月＞ 博士（商学）
		キャリアデザイン キャリア形成			キャリアデザイン キャリア形成
兼任	助教	TRACY, Mark ＜令和7年4月＞ Juris Doctor/M. of Business Administration (米 国)	兼任	助教	TRACY, Mark ＜令和7年4月＞ Juris Doctor/M. of Business Administration (米 国)
		国際教養A 国際教養B 国際教養C			国際教養A 国際教養B 国際教養C
兼任	教授	PORTEUX, Jonson N. ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Political Science (米 国)			
		政治学			
兼任	准教授	YOO, Kate Inyoung ＜令和6年4月＞ 博士（アジア太平洋学）	兼任	准教授	YOO, Kate Inyoung ＜令和6年4月＞ 博士（アジア太平洋学）
		ツーリズム・マネジメント			ツーリズム・マネジメント
兼任	講師	LIND, Scott L. ＜令和7年4月＞ Ph. D. in Communication (米 国)	兼任	講師	LIND, Scott L. ＜令和7年4月＞ Ph. D. in Communication (米 国)
		国際教養D 国際教養E 国際教養F			国際教養D 国際教養E 国際教養F
兼任	講師	GREGORY, Caitlin L. ＜令和6年4月＞ B of Occupational Therapy (オーストラリア)	兼任	講師	GREGORY, Caitlin L. ＜令和6年4月＞ B of Occupational Therapy (オーストラリア)
		Essay Writing II Communication in English I Communication in English II Communication in English III Communication in English IV			Essay Writing II Communication in English I Communication in English II Communication in English III Communication in English IV
兼任	講師	FOUMAKIS, Steale ＜令和6年4月＞ M. Ed. (TESOL) (オーストラリア)	兼任	講師	FOUMAKIS, Steale ＜令和6年4月＞ M. Ed. (TESOL) (オーストラリア)
		Essay Writing II Communication in English I Communication in English II Communication in English III Communication in English IV			Essay Writing II Communication in English I Communication in English II Communication in English III Communication in English IV
兼任	助教	浅 田 えり佳 ＜令和7年9月＞ 修士（文学）	兼任	助教	浅 田 えり佳 ＜令和7年9月＞ 修士（文学）
		TOEIC演習Ⅱ			TOEIC演習Ⅱ
兼任	助教	区 潔萍 ＜令和8年9月＞ 博士（障害科学）	兼任	助教	区 潔萍 ＜令和8年9月＞ 博士（障害科学）
		総合科目C			総合科目C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	東永 叔子 ＜令和8年4月＞ 博士（行動科学）
					心理学
兼任	講師	菅澤 崇 ＜令和8年9月＞ M.S.in Cultural Foundations of Education (米國)	兼任	講師	菅澤 崇 ＜令和8年9月＞ M.S.in Cultural Foundations of Education (米國)
		総合科目 A			総合科目 A
兼任	講師	相良 博昭 ＜令和8年4月＞ 修士（体育学）	兼任	講師	相良 博昭 ＜令和8年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツ健康科学			スポーツ健康科学
兼任	講師	染田 靖 ＜令和6年4月＞ 文学修士 ※	兼任	講師	染田 靖 ＜令和6年4月＞ 文学修士 ※
		哲学			哲学
兼任	講師	CAKIR, Murat ＜令和7年4月＞ 修士（教育学） ※	兼任	講師	CAKIR, Murat ＜令和7年4月＞ 修士（教育学） ※
		教育制度概論			教育制度概論
兼任	講師	浅野 真菜 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	浅野 真菜 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		Academic Reading I Academic Reading II			Academic Reading I Academic Reading II
兼任	講師	阿部 法子 ＜令和6年4月＞ 短期大学士（音楽）	兼任	講師	阿部 法子 ＜令和6年4月＞ 短期大学士（音楽）
		デジタルリテラシー			デジタルリテラシー
兼任	講師	顕谷 美枝子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） ※	兼任	講師	顕谷 美枝子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） ※
		TOEFL演習 I			TOEFL演習 I
兼任	講師	飯田 奈美子 ＜令和8年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	飯田 奈美子 ＜令和8年4月＞ 博士（学術）
		多文化共生			多文化共生
兼任	講師	梅谷 綾 ＜令和7年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	梅谷 綾 ＜令和7年4月＞ 修士（言語文化学）
		スウェーデン語			スウェーデン語
兼任	講師	江見 圭司 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	江見 圭司 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		数学			数学
兼任	講師	岡田 禎之 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	岡田 禎之 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		言語学研究 C			言語学研究 C
兼任	講師	片渕 悦久 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	片渕 悦久 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		地域研究（北アメリカ）			地域研究（北アメリカ）
兼任	講師	片山 浩史 ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※	兼任	講師	片山 浩史 ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※
		イタリア語 I イタリア語 II			イタリア語 I イタリア語 II
兼任	講師	久保田 真紀子 ＜令和6年9月＞ 修士（文学）	兼任	講師	久保田 真紀子 ＜令和6年9月＞ 修士（文学）
		TOEFL演習 II			TOEFL演習 II
兼任	講師	氏木 孝仁 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	氏木 孝仁 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		Introduction to Academic English			Introduction to Academic English
兼任	講師	新谷 俊裕 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	新谷 俊裕 ＜令和7年4月＞ 文学士
		デンマーク語			デンマーク語
兼任	講師	武田 雅史 ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※	兼任	講師	武田 雅史 ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※
		Academic Reading III Academic Reading IV			Academic Reading III Academic Reading IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	永谷 麻衣子 ＜令和7年4月＞ 文学修士 ※	兼任	講師	永谷 麻衣子 ＜令和7年4月＞ 文学修士 ※
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ			ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	中野 晃希 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	中野 晃希 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		Academic ReadingⅠ Academic ReadingⅡ			Academic ReadingⅠ Academic ReadingⅡ
兼任	講師	菟 寛美 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	菟 寛美 ＜令和7年4月＞ 文学士
		TOEIC演習Ⅰ			TOEIC演習Ⅰ
兼任	講師	林 安紀子 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	林 安紀子 ＜令和7年4月＞ 文学士
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ			スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	久岡 明穂 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	久岡 明穂 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		文学			文学
兼任	講師	平田 和彦 ＜令和6年4月＞ 修士（英語学） ※	兼任	講師	平田 和彦 ＜令和6年4月＞ 修士（英語学） ※
		英検演習（準1級） 英検演習（1級）			英検演習（準1級） 英検演習（1級）
兼任	講師	松田 青華 ＜令和8年4月＞ 専門士（デザイン専門課程）	兼任	講師	松田 青華 ＜令和8年4月＞ 専門士（デザイン専門課程）
		音声学特殊講義			音声学特殊講義
兼任	講師	望月 バドル ＜令和8年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	望月 バドル ＜令和8年4月＞ 博士（工学）
		総合科目B			総合科目B
兼任	講師	山川 亜古 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	山川 亜古 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		フィンランド語			フィンランド語
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		Introduction to Academic English			Introduction to Academic English
兼任	講師	山本 アケミ ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※	兼任	講師	山本 アケミ ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※
		ポルトガル語			ポルトガル語
兼任	講師	山本 かおり ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※	兼任	講師	山本 かおり ＜令和7年4月＞ 修士（文学） ※
		Academic ReadingⅢ Academic ReadingⅣ			Academic ReadingⅢ Academic ReadingⅣ
兼任	講師	柚木 かおり ＜令和7年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	柚木 かおり ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		ロシア語			ロシア語
兼任	講師	関 淳奎 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	関 淳奎 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		ハングルⅠ ハングルⅡ			ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	楊 宏民 ＜令和7年4月＞ 文学修士 ※	兼任	講師	楊 宏民 ＜令和7年4月＞ 文学修士 ※
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**属可陸又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ 川光真二助教について、令和6年4月昇任に伴い、職名を准教授へ変更。
- ・ WABER, Zachary J. 講師の就任辞退に伴い、令和6年4月より後任としてHORN, Graham M. 講師が就任。前任者の全担当授業科目を担当。
- ・ 篠原郁子兼担教授の就任辞退に伴い、「心理学」について、令和8年4月より後任として末永叔子兼担准教授へ変更。
- ・ 小田桐確兼担准教授について、令和6年4月昇任に伴い、職名を教授へ変更。
- ・ PORTEUX, Jonson N. 兼担准教授の就任辞退に伴い、令和7年4月就任予定の岸野浩一兼担准教授を令和6年4月へ就任年月を変更。担当授業科目に「政治学」を追加。
- ・ 岡田禎之兼任講師について、令和6年4月より既設学部専任教員に採用したため、兼担教授へ変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	4	6	1	16	0	5	5	6	0	16	0
(5)	(4)	(6)	(1)	(16)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
5	5	6	0	16	0	5	5	6	0	16	0
[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	WABER, Zachary J.	R6.3	必修	Essay Writing I	①	R6.3他大学へ転出のため就任辞退（6）						
				必修	Essay Writing II	①							
				必修	Essay Writing III	①							
				必修	Communication in English III	①							
				必修	Communication in English IV	①							
				選択	インディペンデント・スタディⅠ	①							
				選択	インディペンデント・スタディⅡ	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
							該当なし						
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	5	科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	2	科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7	科目	計	7 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{16} = 6.25 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ **令和6年度開設の学科等の場合、（D）+（F）と同数を記載してください。**

(3) ー⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【令和6年度】 <大学の所見> 専任教員1名が就任辞退したため、令和6年4月より専任教員1名を補充した。各授業内容については、統一シラバスを採用しており、学生の授業や履修等には専任教員の交代による影響はなかった。 <学生への周知方法> 就任辞退・変更については、履修登録ガイダンスまでに時間割表やコースシラバス等の変更も行っており、ガイダンス時に周知徹底を行ったため、学生の履修に関する不都合はなく、混乱も生じなかった。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和5年)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 国際日本学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 大学全体の教育活動の質的向上・発展を図ることを目的として、「ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会」を設置している。構成員は、委員長、教務部長、学長が委嘱する委員(外国人教員含む)、事務局長等の関係職員からなる。また、「スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会」を設置し、組織的・体系的な研修その他必要な取組を企画し、教職員に求められる知識・技能の育成および向上に取り組んでいる。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 各委員会は公務として位置づけ、やむを得ない事情を除き全員出席。 [FD] 年間4回程度開催 [SD] 随時開催 c 委員会の審議事項等 [FD] ・ 教育内容および方法の改善のための方策に関する事項 ・ 教育内容および方法にかかる研究会、研修会、シンポジウム等の企画運営に関する事項 ・ 学生による授業評価の実施、分析等に関する事項 ・ 教員からの教育内容および方法の相談に関する事項 ・ 教育内容および方法にかかる指導が必要な教員に関する事項 ・ ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動報告書等の作成に関する事項 ・ 学長が諮問する事項 [SD] ・ 実施方針に掲げる研修等に関する事項 ・ 学生の学習支援のための基本方針と実施体制に関する事項 ・ 部門単位での業務改善目標の設定と結果の分析に関する事項 ・ 審議および決定した内容について学内で告知徹底するための具体的方策に関する事項 ・ その他、委員会が必要と認めた事項 ② 実施状況 a 実施内容 [FD] ・ FD授業公開の実施 ・ FD授業評価の実施・分析 ・ FD授業評価集計結果・分析に関する教員の所見回収、公表 ・ FD講演会の開催 ・ FD授業実践研究フォーラムの開催 ・ 『FD活動報告書』の作成 [SD] ・ テーマ別研修 ・ オンデマンド研修 ・ 研究倫理観養成研修

b 実施方法

[FD]

- FD授業公開の実施（年間2回）

春・秋学期に各約2か月間の授業公開期間を設け、全学部全授業を対象とした教員の相互授業参観を行っている。授業者は、参観者からの建設的なコメント（フィードバック）を自分の授業に反映させる。同時に、参観者は、授業者の教授法を自らの授業の参考にしている。

- FD授業評価の実施（年間2回）・分析（年間1回）

春・秋学期ともに、全開講科目の履修者を対象としてFD授業評価を実施している。FD授業評価結果は、各学期終了後に担当教員本人へフィードバックする。

- FD授業評価・分析に関する教員の所見回収、公表（年1回）

各教員は上記の授業評価結果を踏まえ、年度末に自己分析を行う。次年度からの授業運営に生かすことで、授業の質の向上を図っている。FD授業評価結果および自己分析結果は、オンラインシステム上で教員および学生に公開する。

- FD講演会の開催（年間1回）

学外の専門家や実務家を招き、外部から見た本学に求められる教育研究活動等、FDの形骸化を防ぎ、推進に寄与するテーマを設定、講演・質疑応答を通じて授業改善を図る。

- FD授業実践研究フォーラムの開催（年間1回）

全学的に発表者を公募し、応募教員一人当たり30分の持ち時間で教育実践を中心とした高等教育に関するテーマについて学会形式で発表を行うもので、教員同士の知見・経験を共有し、教育力の向上を目指す。

[SD]

- テーマ別研修（年間1～2回）

SD実施に関する方針に掲げる大学運営、教育研究活動、大学業務等に関する特定のテーマを取り上げ、学内または学外講師によるテーマ別研修を実施している。

- オンデマンド研修（年間1～2回）

大学マネジメント機能（大学ガバナンス・意思決定プロセス、大学評価システム・質保証、教学マネジメント、学生支援・キャリア支援、国際交流、学生確保等）に関する理解を深めるため、地理的・時間的制約の克服が可能なオンデマンド学習ツール「e-JINZAI for university」を積極活用し、教職員の自己啓発を促す研修の一環として、複数の研修を案内し、研修後はレポートの提出を求めている。

- 研究倫理観養成研修（年間1回）

年度初めにあたる教員連絡会議において、研究倫理観の養成を目的として、専任・特任教員を対象に「研究に対する基本方針」「競争的資金等の使用に関する行動規範」「研究活動上の不正行為防止」「教員研究室・教室使用の留意点」について研修を実施している。

[FD・SD委員会所管外の活動]

- FD・SDの位置付けとした研修等

新任教員ガイダンス（教務委員会主催、年1回）、人権問題学習会（人権教育思想研究委員会主催、年1回）、新任教職員人権問題研修会（人権教育思想研究委員会主催、年1回）などを実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

[FD]

- FD授業公開の実施

令和5年度は春学期と秋学期にそれぞれ約2か月間実施し、春学期は66人、秋学期は54人の授業参観の申込があった。

- FD授業評価の実施・分析

令和5年度は春学期と秋学期にそれぞれ実施し、次学期の授業開始までに担当教員本人へのフィードバックを行った。また、授業評価集計および分析結果の公表は令和6年8月下旬を予定。

- FD授業評価集計結果・分析に関する教員の所見回収、公表

令和5年度は3月中に所見の入力を実施。448人（全教員の約80%）からの回答（回収率）を得た。未入力教員については、4月以降に入力を依頼。公表は令和6年8月下旬を予定。

- FD講演会の開催

「学びのモチベーション ～やる気の質に着目して～」のテーマで令和6年2月に開催し、100人の参加があった。

- FD授業実践研究フォーラムの開催

令和6年10月に開催。発表者3人から授業実践に関する取組みが報告され、67人の参加があった。

[SD]

- テーマ別研修

令和5年度は7月に「本学の現状や課題、その他解決に向けた方策等の研究成果発表(SD)」、2月に「競争戦略としての大学マーケティング」の計2回実施。合計210人の教職員が参加した。

- オンデマンド研修

令和5年度は①新任教職員ハラスメント研修（4月から3か月間）、②最新高等教育政策のポイント（9月から3か月間）の2つの講座を必須で受講することを案内し、合計154人の教職員が受講した。それぞれの講座受講後にレポートの提出を求めた。

- 研究倫理観養成研修

4月の教員連絡会議において、専任・特任教員254人に対し「研究に対する基本方針」「競争的資金等の使用に関する行動規範」「研究活動上の不正行為防止」「教員研究室・教室使用の留意点」の研修を実施。

[FD・SD委員会所管外の活動]

- 新任教員ガイダンス 令和6年3月に実施。教員59人出席。

- 人権問題学習会 令和5年11月に実施。教職員45人出席。

- 新任教職員人権問題研修会 令和5年5月に実施。教職員31人出席。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

年間を通じた組織的・全学的FD/SD活動によって、外国語教育を中心に、幅広い分野で実践的な授業改善に取り組んでいる。その結果は、年2回実施している学生による授業評価において、授業に対する総合評価が令和3年度春学期79.3点・秋学期81.3点、令和4年度春学期81.8点・秋学期82.2点、令和5年度春学期82.2点・秋学期83.3点と高い比率を維持するなど、成果を上げている。今後もこうした取組を継続的にを行い、教員の資質維持・向上はもちろん、さらなる授業科目間のコーディネートや授業間での情報共有・連携強化に取り組んでいく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年に2回、学期ごとに、全開講科目の履修者を対象とし、実施している。令和5年度は、春学期(7月10日～7月21日(①留学生別科、②外国語学部 英米語学科、スペイン語学科 International and Global Studiesコース、③関西外大流グローバル人材育成プログラムについては、5月15日～5月19日))と秋学期(12月18日～12月23日(①国際共生学部、②留学生別科、③外国語学部 英米語学科、スペイン語学科 International and Global Studiesコース、④関西外大流グローバル人材育成プログラムについては、12月5日～12月11日))に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生による授業評価は、各学期終了後に集計結果を担当教員本人へフィードバックしている。また、授業評価の集計結果は、教職員および学生のみ閲覧可能なオンラインシステム上で公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科の「高度で実践的な英語運用能力を獲得したうえ、日本語・日本語教育および日本文化・社会に関する専門知識、ならびに豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を併せ持ち、グローバル社会で活躍できる人材の育成」という人材養成目的のもと、ディプロマ・ポリシーにもとづく、カリキュラムポリシーの実現のため、「日本語・日本語教育についての専門的な知識」、「日本の文化・社会についての深い知識」、「高度な実践的な英語運用能力」、「国際感覚」、「キャリア形成」という修得すべき項目にもとづき、教育課程を編成し計画どおり令和6年4月から教育を開始した。

入学者選抜については、アドミッション・ポリシーに掲げる能力を確認するため、一般入試、大学入学共通テスト利用入試、公募制推薦入試、指定校制推薦入試、社会人入試および帰国生徒入試の6つの方式で入学者選抜を計画通り実施し、定員通りの入学者を得ている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和6年8月末日 公表予定

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（令和6年8月末日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和8年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中
なお、平成31年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、「適合」認定をうけた。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。